

g. 手紙

h. その他

(

)

最後に

16. 医師と薬剤師の間での情報提供についてご意見等ございましたらお願いいたします。

ご協力ありがとうございました

平成20年10月

厚生労働省医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業

『薬剤師の社会的役割を踏まえた医師との地域医療連携のあり方に関する研究』

研究代表者 大野 勲

東北薬科大学病態生理学教室 教授

〒981-8558 仙台市青葉区小松島 4-4-1

電話／022-727-0126

ファックス／022-727-0128

資料4

様式第3号

受付番号

2008-0

平成20年9月26日

倫理委員会審査結果通知書

実施責任者

大野

勲

東北医科大学本学部

人学院医学研究科倫理委員会

委員長 古廣 文彦



課題名：医師と薬剤師による患者情報共有に関する研究

上記課題の実施計画を平成20年9月25日の倫理委員会で審査し、下記のとおり決定しましたので、通知します。

記

判定

- 承認する。
- 条件付で承認する。
- 変更を勧告する。
- 承認しない。
- 該当しない。

条件又は変更勧告の内容及び理由：

第8回せんだい医薬連携セミナー

謹啓

時下、先生におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび下記の通りセミナーを開催させていただきます。先生におかれましては、ご多忙中のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますよう
宜しく願い申し上げます。 謹白

記

【日 時】 2009年2月20日(金) 19:00～

【場 所】 エル・パーク仙台 5F セミナーホール

住所：仙台市青葉区一番町4丁目11-1 Tel.022-268-8300

プ ロ グ ラ ム

テーマ：医薬情報交換の現状と問題点

開会挨拶 19:00 東北薬科大学 大野 勲 先生

報告講演 19:10～19:40

座長 仙台オープン病院呼吸器科 飯島 秀弥 先生

『医薬情報交換に関するアンケート調査結果』

東北薬科大学 大野 勲 先生

パネリストディスカッション 19:40～20:30

座長 東北薬科大学 大野 勲 先生

パネリスト 仙台医療センター循環器科 篠崎 毅 先生

会川クリニック内科・呼吸器科 会川 尚志 先生

東北厚生年金病院薬剤部 畑中 貞雄 先生

東北調剤西中田店 井筒 隆宏 先生

閉会挨拶 20:40 長野内科胃腸科 長野 正裕 先生

本セミナーは日本医師会生涯教育講座5単位、日本薬剤師会研修センター認定1単位、日本病院薬剤師会生涯研修1単位の認定を受けております。

共催 せんだい医薬連携セミナー・宮城県医師会・宮城県薬剤師会・宮城県病院薬剤師会・東北薬科大学（厚生労働省医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）

「医薬連携喘息セミナー」

病態から治療の実践まで

日時

平成21年2月7日(土) 15:00-

会場

江陽グランド ホテル5F 鳳凰の間

宮城県仙台市青葉区本町二丁目3-1 TEL 022-267-5111

目的

喘息治療において、医師と薬剤師が病態、薬物治療、服薬指導に関する情報・知識を共有することにより、より連続性のある医療を患者に提供することを目的としたセミナーです

喘息治療薬の展示 (15:00-)

座長: 大野 勲 先生/東北薬科大・病態生理学教室

喘息の病態 (15:30-16:00)

大河原 雄一 先生/東北薬科大・保健管理センター

喘息治療薬の薬理、薬物動態 (16:00-16:30)

丹野 孝一 先生/東北薬科大・薬理学教室

座長: 田村 弦 先生/仙台気道研究所

喘息治療・管理のガイドライン (16:30-17:30)

【成人喘息】三浦 元彦 先生/東北労災病院呼吸器科

【小児喘息】三浦 克志 先生/宮城県立こども病院総合診療科

喘息治療薬の服薬指導 (17:30-18:00)

由良 温宣 先生/東北労災病院薬剤部

質疑応答 (18:00-18:15)

※当日会費 1000円を受付にて徴収させていただきます。

※セミナー終了後、情報交換会を予定しております。

※日本医師会生涯教育講座5単位、日本アレルギー学会専門医研修2単位

日本薬剤師研修センター認定1単位、日本病院薬剤師会生涯研修1.5単位

共催

せんだい医薬連携セミナー、宮城県医師会、宮城県薬剤師会、宮城県病院薬剤師会

日本アレルギー協会東北支部、薬物吸入療法研究会

東北薬科大学(厚生労働省医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)

アストラゼネカ(株)、グラクソ・スミスクライン(株)、大日本住友製薬(株)、帝人ファーマ(株)

処方・調剤業務における確認事項報告書

報告日：平成 年 月 日

【担当医】

仙台オープン病院（ 科）

担当医師名

FAX 022-252-9431 薬剤部

【担当薬剤師】

薬局名

担当薬剤師名

FAX

報告事項

患者氏名： (ID：)

性別： 男・女 生年月日： 年 月 日 (歳)

① 【確認を要する事項】 (該当箇所： →)

病名に関する事項

処方内容や処方意図に関する事項

服薬指導に関する事項

コンプライアンス・残薬状況に関する事項 (残薬理由に○をいくつでも可)

残薬理由： 忙しい、生活不規則、食事不規則、内服が面倒・複雑、自己調節効果がない、くすりが嫌い、副作用が怖い、処方変更、単なる飲み忘れ、その他

他院・他科からの処方に関する事項

有害事象 (因果関係のないものを含む) に関する事項

患者生活環境・苦情に関する事項

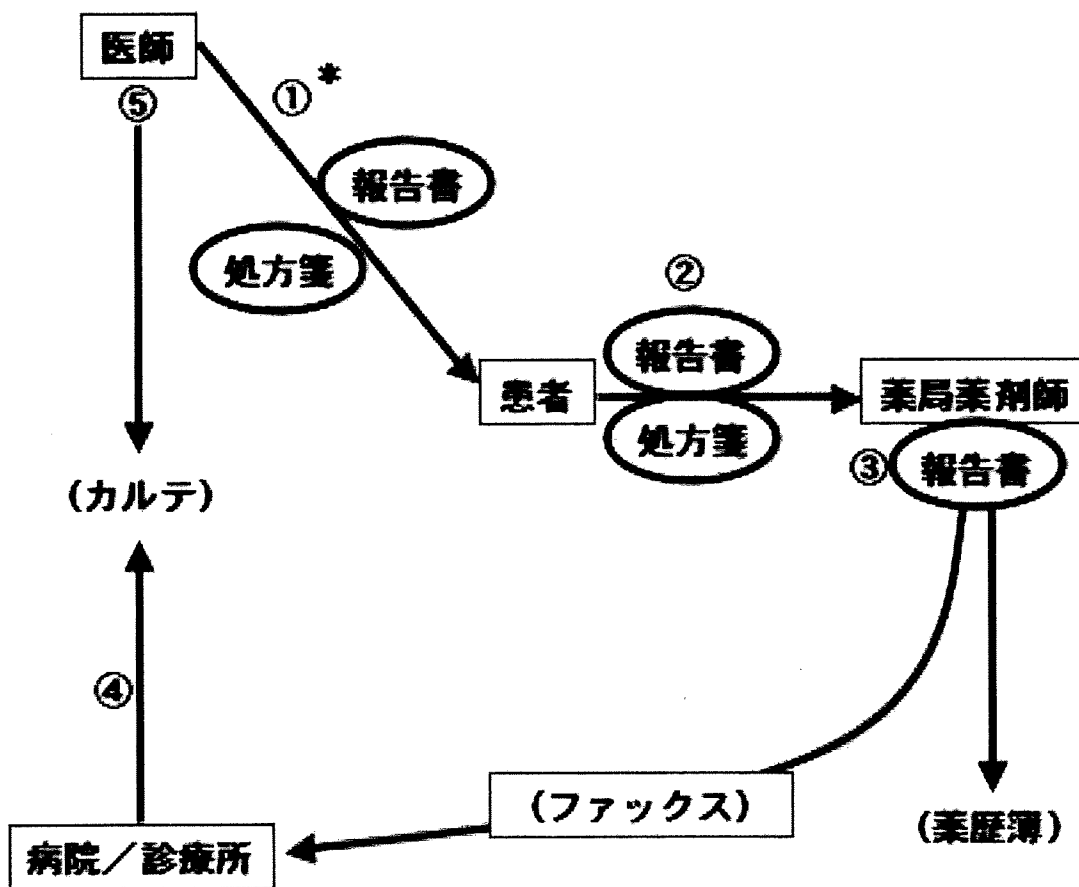
その他 ()

② 【確認内容 (①の「」箇所について記載)】

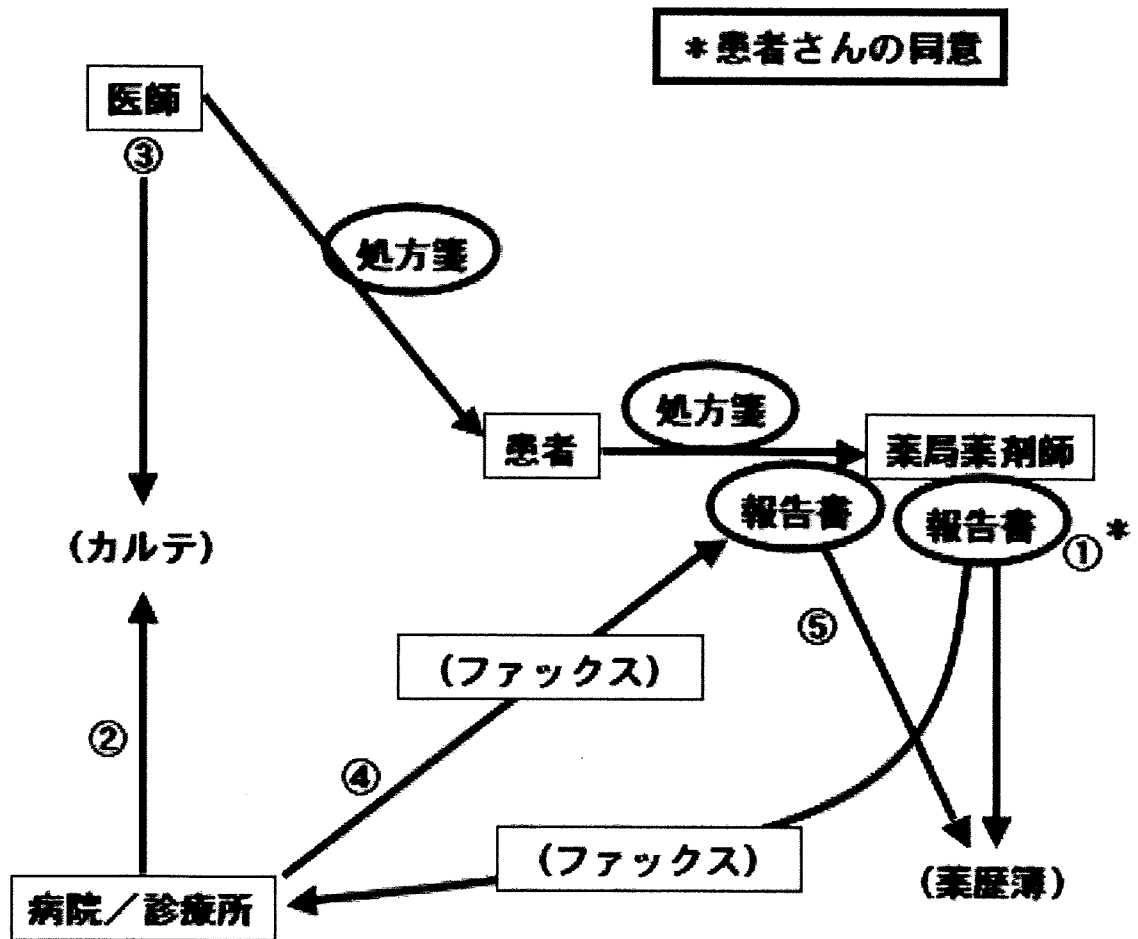
③ 【コメント (上記②に対する回答等)】

医師からの報告書

***患者さんの同意**



薬局薬剤師からの報告書



第9回 せんだい医薬連携セミナー

謹啓

時下、先生におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、このたび下記の通りセミナーを開催させていただきます。先生におかれましては、ご多忙中のことと存じますが、万障お繰り合わせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。 謹白

記

【日 時】 2010年3月2日(火) 19:00~

【場 所】 仙台市シルバーセンター 第一研修室

住所：仙台市青葉区花京院1丁目3番2号

Tel.022-215-3191

プログラム

テーマ：医師と薬剤師による地域医療連携のあり方

開会挨拶 19:00 東北薬科大学 大野 勲 先生

報告講演 19:10~19:40

座長 柴崎内科・小児科医院 柴崎 篤 先生

『医薬情報交換の実施とその効果』

東北薬科大学 大野 勲 先生

パネルディスカッション 19:40~20:30

座長 東北薬科大学 大野 勲 先生

パネリスト 東北厚生年金病院循環器センター 片平 美明 先生

土橋内科医院 小田倉 弘典 先生

東北労災病院薬剤部 由良 温宣 先生

仙台調剤台原店 今井 晴子 先生

カリン薬局 高田 秀之 先生

コメンテーター 医師（参議院議員） 桜井 充 先生

厚生労働省医薬食品局総務課 高江 慎一 様

閉会挨拶 20:40 会川クリニック内科・呼吸器科 会川 尚志 先生

本セミナーは日本薬剤師会研修センター認定1単位、日本病院薬剤師会生涯研修1単位の認定を受けております。

共催 せんだい医薬連携セミナー・宮城県薬剤師会・宮城県病院薬剤師会
東北薬科大学（厚生労働省医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業）

資料 1 1

様式第 3 号

受付番号

2009-2

平成 21 年 5 月 26 日

倫理委員会審査結果通知書

実施責任者

大野 勲 殿

東北薬科大学薬学部・

大学院薬学研究科倫理委員会

委員長 吉崎 文彦



課 題 名：医師と薬剤師による患者情報交換システムに関する研究

(研究期間継続の変更)

上記課題の実施計画を平成 21 年 5 月 25 日の倫理委員会で審査し、下記のとおり判定しましたので、通知します。

記

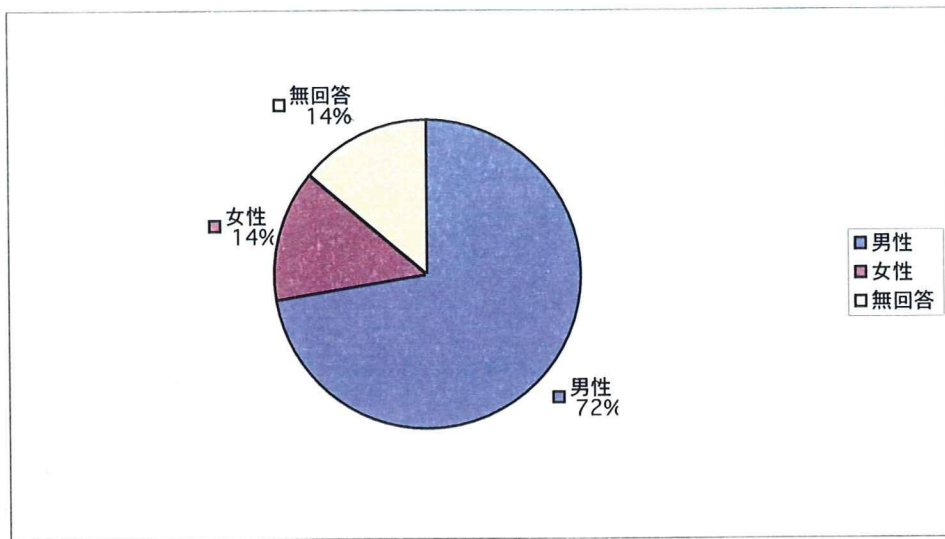
判 定

- 承認する。
- 条件付きで承認する。
- 変更を勧告する。
- 承認しない。
- 該当しない。

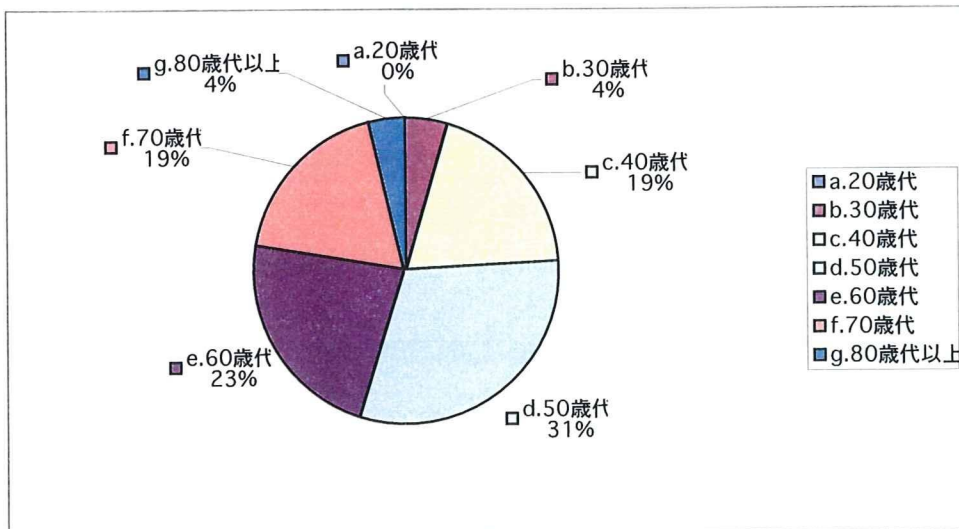
条件又は変更勧告の内容及び理由：

資料 1 2

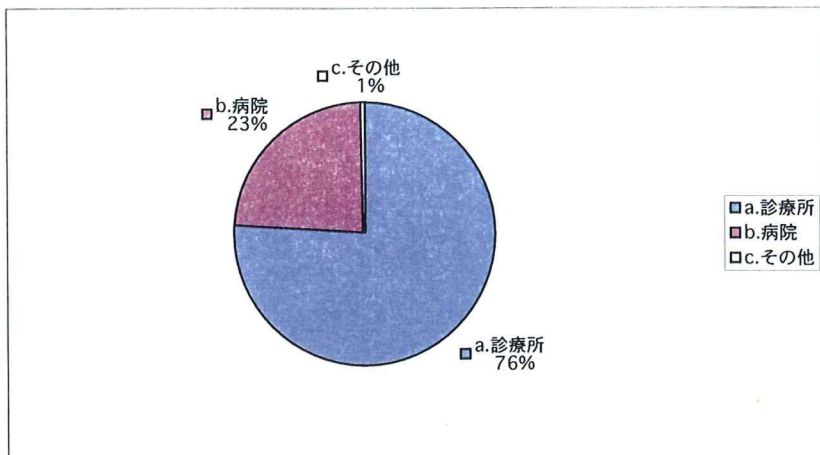
性別



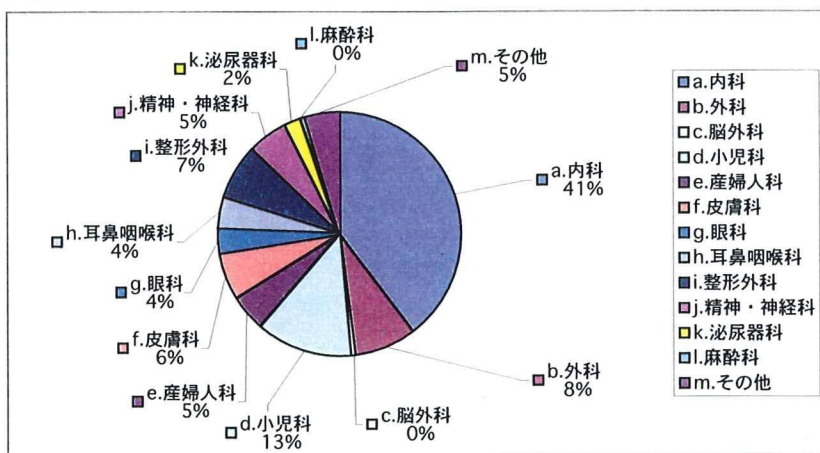
年齢



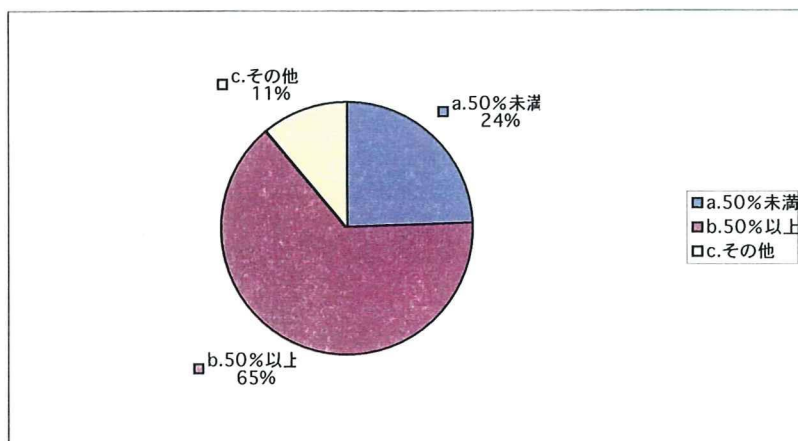
勤務形態



診療科

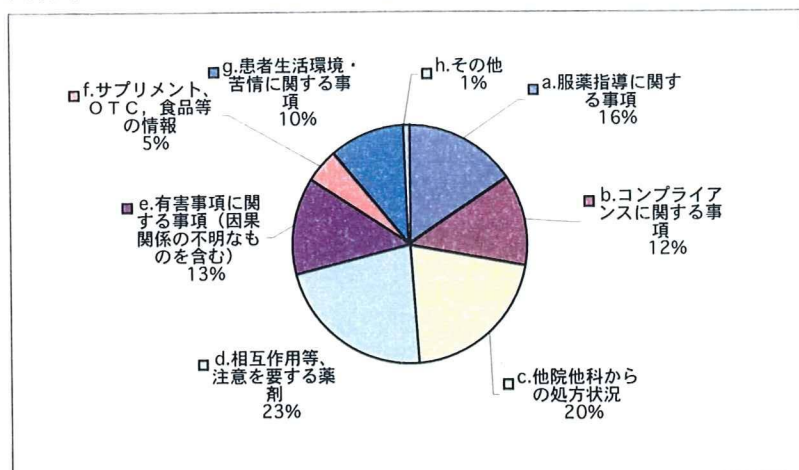


院外処方箋の比率

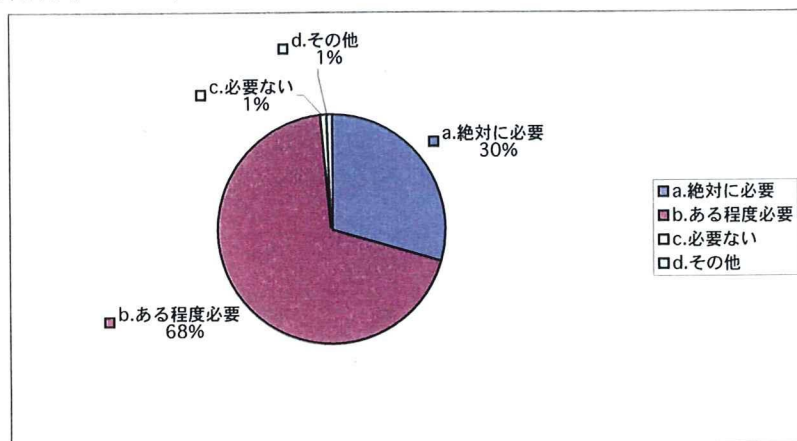


I. 院外の薬剤師から医師への情報提供について

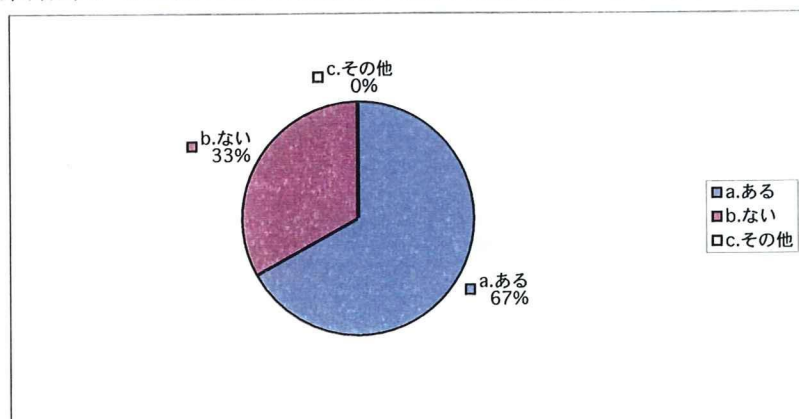
薬剤師から情報提供を受けるとした場合、有用と思われるものをお選び下さい。



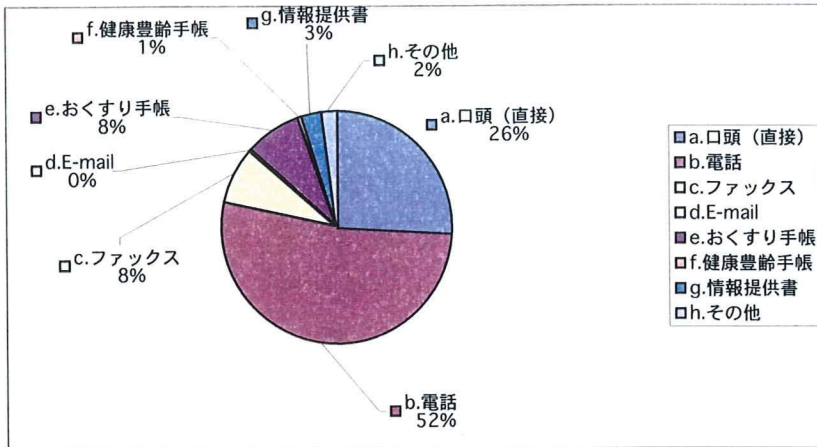
薬剤師から上記のような情報の提供はどの程度必要だとお考えですか？



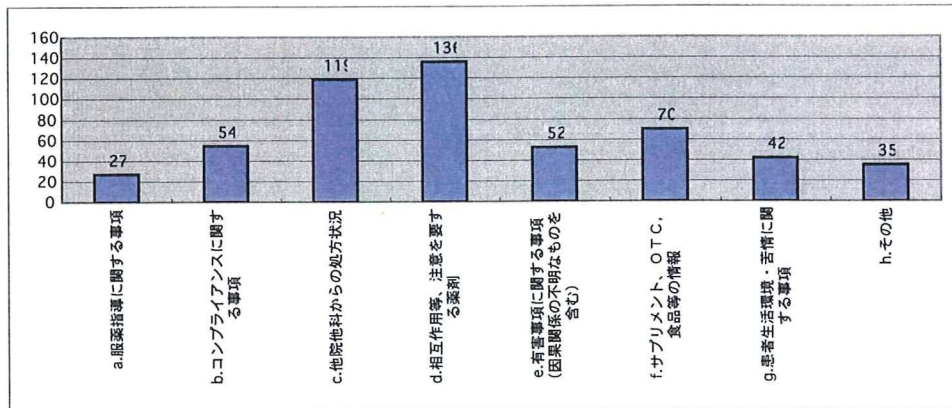
薬剤師から上記のような情報の提供を受けましたことがありますか？



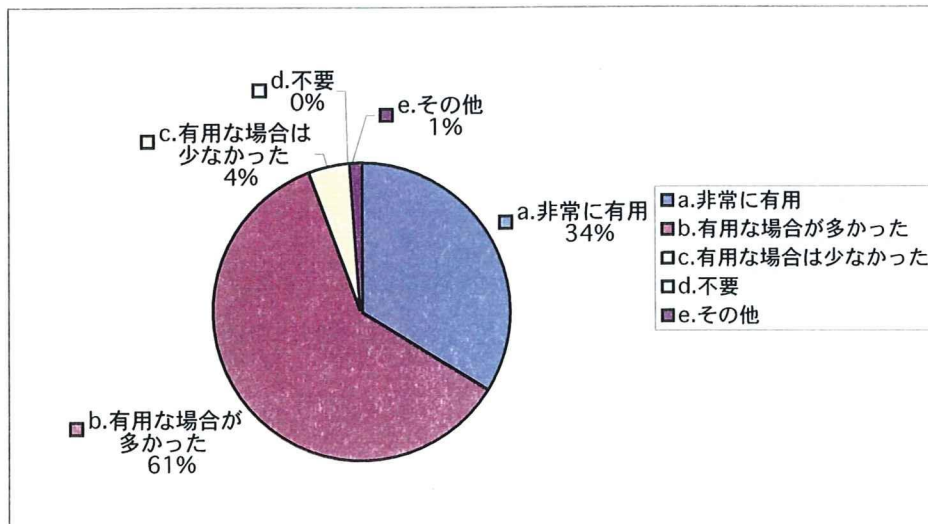
「a. ある」とお答え頂いた先生へ
どのような手段でしたか？



どのような内容でしたか？

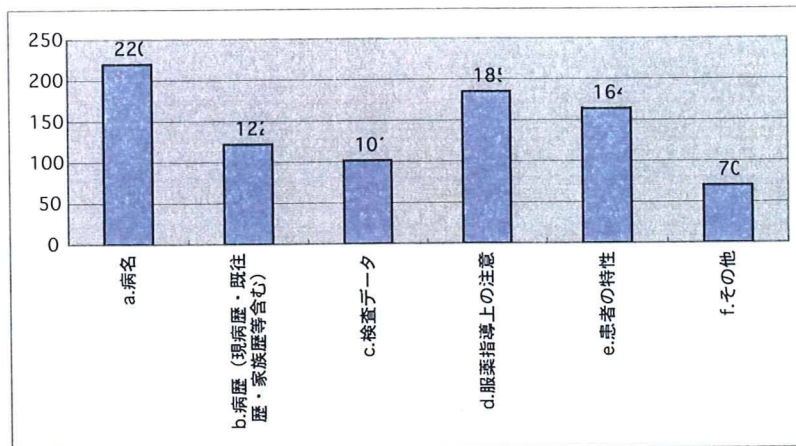


提供された情報は診療に有用でしたか？

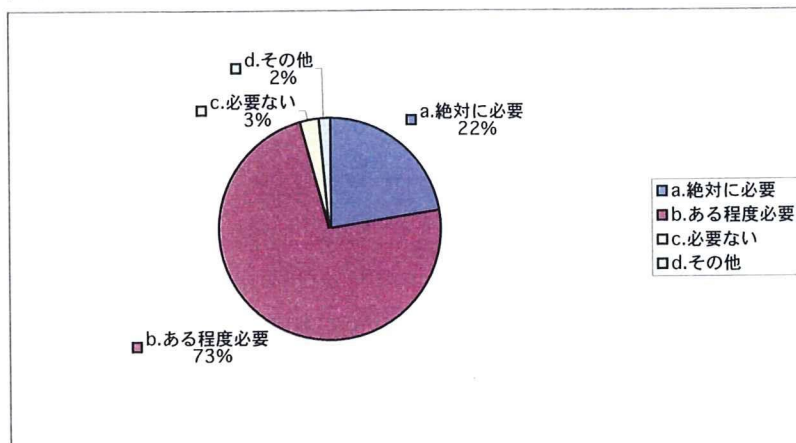


II. 医師から院外の薬剤師への情報提供について

薬剤師へ情報提供するとした場合、どのような情報が提供可能ですか？



薬剤師へ上記のような情報の提供はどの程度必要だとお考えですか？



薬剤師へ上記のような情報を提供したことはありますか？

